

食中毒の発生について

～1歳未満の乳児にはちみつを与えないでください。～

【乳児ボツリヌス症とは】

乳児ボツリヌス症は、1歳未満の乳児にみられるボツリヌス症である。

原因食品と共に体内に摂取されたボツリヌス菌の芽胞（植物に例えると種子の様な耐久型の菌の状態）は、乳児の腸管内で毒素を産生し、ボツリヌス症をひき起こす。乳児の腸内細菌叢が成人と異なるために起こる疾病である。

乳児ボツリヌス症での死亡はまれである。

【症状】

便秘、筋力の低下、哺乳力の低下、泣き声が小さくなる等が認められる。

【原因食品】

乳児ボツリヌス症の主な原因食品は、はちみつである。原因不明の事例も多い。はちみつ以外、原因食品が確認された事例はほとんどない。

【予防方法】

乳児ボツリヌス症の予防は、1歳未満の乳児には、ボツリヌス菌の芽胞に汚染される可能性のある食品（はちみつ等）を食べさせないことである。

【ボツリヌス菌】

ボツリヌス食中毒等のボツリヌス症の原因菌である。ボツリヌス菌は土壌や海、川などの泥砂中に分布している。酸素の少ない環境を好む菌で、芽胞を作る。ボツリヌス菌の芽胞は熱に強く、低酸素状態に置かれると発芽・増殖し、ボツリヌス毒素を産生する。

はちみつ自体はリスクの高い食品ではありません。
1歳未満の乳児にはちみつを与えてはいけませんが、
1歳以上の方がはちみつを摂取しても、本症の発生はありません。

<厚生労働省 ハチミツを与えるのは1歳を過ぎてから>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161461.html>

<ボツリヌス菌について>

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/micro/boturinu.html>

<乳児ボツリヌス症について>

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/rensai/guide26.html>